

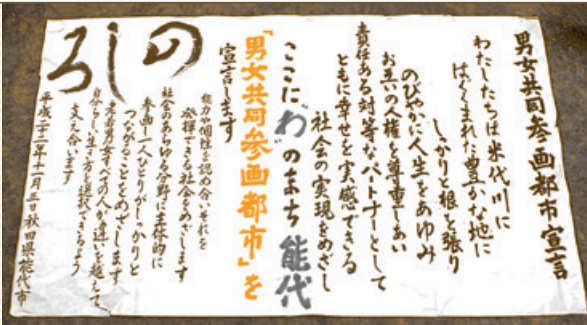
能代市 男女共同参画月間

11月1日～30日

市では、毎年11月を「男女共同参画月間」としています。今年は、11月19日(土)に「多様性について考えよう！一人ひとりを大切にする社会へ」をテーマに、男女共同参画推進講座を開催します。

今回、男女共同参画について、能代市男女共同参画推進委員会会長の鵜木恵子さん、副会長の牧野康子さんにインタビューを行いました。

問合せ 市民活力推進課 ☎89-2212



市の男女共同参画都市宣言
能代北高校（現能代松陽高校）の書道部による
書道パフォーマンスでつくられた宣言文

男女共同参画社会とは？

男女共同参画社会とは「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」とされています。

市では、平成22年11月3日に男女共同参画都市を宣言し、推進のための講座などを開催しています。

▼男女共同参画の状況について

どのように感じていますか

「鵜木会長」

言葉は知っているけど、行動や実行に結びつけるところがまだできていない感じがします。日本は男女共同参画が遅れていると言われていますが、男性は女性にも頑張ってもらわなければいけないと分かっているけれど、これをお願いしなすと言えないのが現実かなという気がしています。若い世代は学校の授業などで吸収していく部分があると思いますが、地域を動かす世代が、分かっていると言いつながら実際に行動できていない部分が多いと感じることがあります。

「牧野副会長」

最近の話ですが、ある女性から同期入社で同じ仕事をしていても男性の給料が高く、出世して優遇され、女性はリストラの対象になりやすいという話を聞き、現実にあるのだと驚きました。また、自分の家庭では、男性も家事をするので、性別役割分業についてあまり感じない部分がありますが、周囲の話ではまだまだ意識改革されていないと感じることがあります。



県「男女共同参画社会づくり表彰」ハーモニー受賞
鵜木恵子会長(右)の長年の活動が、男女共同参画社会実現に貢献するもので今後の社会づくりに好影響を与え
るとして功績が評価されました。

▼第2次能代市男女共同参画計画では「一人ひとりを認め合い、心豊かに暮らせるまちづくり」を基本理念としていますが、どのような取り組みが必要と考えますか

「鵜木会長」

認め合うためにどうしたらいいか考えた時に、「多様性」をしっかりと理解することが大切だと思います。多様性には、すべての人が毎日生活していく中で、とても大事な考え方や視点が含まれます。市民の皆さんが何も知らないよりは、知っている・聞いたことがあるとなれば自然に行動が変わると思うので、学ぶことやさまざまな情報を発信していくことが必要と考えます。

目次 — CONTENTS —

- 6 新型コロナワクチン接種情報
- 8 保育所・認定こども園入園申し込み
- 9 脳ドック・すい臓等がんドック助成健康いきいきメモ
- 10 環境通信
- 11 市の職員数・給与などの状況
- 12 話題ピックあつぷ
- 13 栄養士おすすめお手軽レシピ
- 14 のしろ information
- 20 学びの情報箱
- 22 まちなか瓦版

広報クイズ

- Q1 10月16日開催のきみまちニツ井マラソンには、何人のランナーが参加した？
1. 約1,200人
 2. 約1,400人
 3. 約1,600人
- Q2 来春の保育園・認定こども園の申し込みはいつから？
1. 12月1日(木)
 2. 12月15日(木)
 3. 12月20日(火)

すべて正解した人の中から抽選で3人に、木工品をプレゼントします。

応募方法

電子申請やはがき、Eメール、ファクスでクイズの答え・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号を記入し、広報のしろに対してひと言添えてご応募ください。

あて先 〒016-8501 能代市上町1-3 地域情報課
ファクス 89-1793
Eメール kouhou@city.noshiro.lg.jp

締め切り 11月25日(金)(当日消印有効)

※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



電子申請はこちら



牧野康子副会長

鵜木恵子会長

▼「多様性」に関する講座を開催しますが、多様性についてどのように考えていますか

〔鵜木会長〕
社会の中にさまざまな人がいます。自分もその中の一人です。多様性のくくりの外に自分を置いて、少数の人に対してだけ多様性と思っていないかな、自分も含まれているんだよということ、をわかってもらうことが大事ななと感じています。日常の中にあるちょっとした偏見などで、何気なく相手に言うてしまうことがあります。そこに気をつけていかなければいけないということを知ってもらいたいです。知っていると知らないのでは、自分の行動や生き方が違ってきます。「多様性＝自分も」だと思います。

〔牧野副会長〕
市民の皆さんに、まずは多様性について知っていただき興味を持ってもらうことが大事だと思います。自分と違うところを理解しようとするのが多様性を受け入れる第一歩と考えます。11月の講座をきっかけに、一人ひとりを思いやる社会づくりにつながればと思っています。



▼能代市の理想とする社会をどのように考えますか

〔牧野副会長〕
自分のやりたいことを諦めない社会づくりがいいなと思っています。みんなが思っていることを自由に発言して、それを受け止めてくれる社会が必要だと思います。これをやりたいと思っても諦めてしまう人が多いと感じています。なぜ諦めてしまうのか聞くと、「そんなことを言っても仕方ない」と周囲から言われたそうです。
まずはやってみたらと応援できる社会、受け止めて応援する環境があればすごくうれしいです。